

院長挨拶

五月も半ばとなり緑薫る季節となりました。昨年の7月豪雨災害で甚大な被害を受け、患者様、地域の皆様には大変ご心配をおかけいたしました。平成31年4月から新しくなった外来で心も新たに診療を始めることができました。病院正面駐車場の桜も例年通り美しく咲き誇り、満開の桜が応援してくれているようです。新外来には最新医療機器、新たなりハビリ機器も導入し、今後益々患者様に良い医療を提供できるよう努めてまいります。

また当院は、三原市西部に位置しており、本郷及びその近隣の地域の救急、入院の受け入れ可能な病院として重要な役割を果たしてまいりました。その再開を待たれる方々のご希望に添えるよう、令和元年6月1日当院2階に地域包括ケア病棟再開の予定です。

周りを見回しても、被災箇所すべての復旧工事が進んでいるとは言い難く、被災地の皆様も梅雨の時期を前にご心配を抱え、長い辛抱にもお疲れが蓄積しておられることと思います。さらに昨年の豪雨災害自体が人々の記憶から忘れられる不安もおありでしょう。私共も同様に体験を通し、地域の中核病院として身体的にも精神的にも頼れる病院を目指して職員一丸となって頑張っていく所存です。



院長 谷本 康信